認知症患者にとっての家族

家族ってなんだろう。
言っていることはわかるが、「それができたら苦労しない」。
病気だということを認識してほしい。
患者のほうが気を使ってしまう。
時間の経過が認識できない。
まわりが早く動くときと、ゆっくり動くときがある。
なんで患者を無視して動くの？
家族がせっかちである。患者に合わせてくれるといいのに。
「理解して」ではなく、想像してほしい。
「病気の人」という距離を置いてほしい。
次元がすれ違うのか？
認知症同士では話が合うのに、家族ではすれ違ってしまう。
気遣いの不足か。

認知症患者にとっての家族

① 家族は、認知症が病気だということを理解する必要がある。

② 「理解」できなくてもよい。「想像」してほしい。

③ 距離を置いてほしい。心情を読み取ることが必要。

④ 家族っていったいなんだろう。味方なのか、敵なのか。

「家族について」のポイント